

# 岩船地域における「こがねもち」の栽培ごよみ

目標の収量構成と品質	
目標収量	510kg/10a
穂数	350本/m <sup>2</sup>
1穂粒数	82粒
m <sup>2</sup> 当り粒数	29,000粒
登熟歩合	84%
千粒重	21.5g
検査等級	全量1等

栽培のポイント

- (1) 健苗育成 : ①育苗日数は20日程度(加温18日、無加温20日) ②播種は4月20日以降、播種量は乾粒140g/箱 ③徒長しやすいので温度管理に注意
- (2) 過剰生育防止 : ①1株苗数3~4本植えとし、茎質向上 ②栽植密度は60株/3.3m<sup>2</sup> ③基肥窒素量は3kg/10a程度 ④中干し・溝切りを徹底し、根の健全化と茎質向上
- (3) 登熟向上 : ①穂肥は出穂18~15日前と10日前とし、粒数過剰と倒伏防止 ②出穂前後25日間は飽水管理とし、田面を乾かさず地力窒素の発現を促進 ③落水は出穂30日以降とし、後期栄養凋落を防止 ※穂肥の適期散布が困難な場合、基肥一発肥料を活用下さい。
- (4) 病害虫防除 : ①いもち病の箱処理剤使用 ②いもち病とカメムシ類の同時防除
- (5) 穂発芽防止 : ①刈り遅れしない適期収穫(立毛中の穂発芽発生あり) ②刈取水分に応じて乾燥温度を調節
- (6) 土づくり : ①稲わらの秋すき込み ②土づくり肥料や堆肥等有機物の施用

基本は「適正生育量の確保」と「登熟の良い稲づく

